様式87の18

腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

の施設基準に係る届出書添付書類

|  |
| --- |
| １　届出種別　　・新規届出　（実績期間　　年　　月～　　年　　月）　　・再度の届出（実績期間　　年　　月～　　年　　月） |
| ２　当該医療機関における直腸切除・切断術又は腹腔鏡下直腸切除・切断術の年間実施症例数　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例そのうち、腹腔鏡下直腸切除・切断術の年間実施症例数 例 |
| ３　標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 科　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 科科　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　科 |
| ４　外科又は消化器外科の常勤医師の氏名等（外科又は消化器外科について５年以上の経験を有する者が２名以上、そのうち10年以上の経験を有する者が１名以上） | 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 診療科名 | 当該診療科の経験年数 |
|  | 時間 |  | 　　　　　　　　年 |
|  | 時間 |  | 　　　　　　　　　年 |
|  | 時間 |  | 　　　　　　　　　年 |
| ５　緊急手術が可能な体制　　　　　　　　　　　　　（　有　　・　　無　） |
| ６　常勤の臨床工学技士の氏名 |  |
| ７ 保守管理の計画　　　　　　　　　　　　　　　　（ 有　　・　　無 ） |

［記載上の注意］

１　「１」は特掲診療料施設基準通知第２の４の（３）に定めるところによるものであること。

２　「２」の腹腔鏡下直腸切除・切断術については、腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を含めても差し支えない。

３　「３」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。

４　「２」については、当該症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。

５　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。